



国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「夢 (gift) を明日へ  
つなげよう」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「ロータリーは親睦と  
奉仕の融合」



2015～2016年度

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン  
2560地区ガバナー 山本 和則  
高田ロータリー会長 水上 喜芳  
幹事 大島 誠

事務局: 新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場: デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
田中 正人 小熊 貞良 栗田 修行  
笠谷 吉春 小林 豊茂 霜村 浩

## 第44回例会 ■ 6月3日(金)移動例会

No.42

### 会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さん今晚は、今日は移動例会と言うことで、岩の原葡萄園さんに伺いました。今日の移動例会を準備して頂きました職業奉仕委員会の皆さん大変ありがとうございました。また、例会場をご提供頂きました岩の原葡萄園の棚橋社長さん大変ありがとうございました。それから、レストランのオープン大変おめでとうございます。今日は、ゆっくり楽しませていただきます。

さて、先週ソウルでのロータリー世界大会に参加して無事帰ってきました。初めての世界大会への参加でしたので、今回のソウル大会がどの様であったか比較することはできませんが45万人の会員が参加したとのことで人、人と言った感じでした。また、22年ぶりのソウル訪問で、街並みに高層ビルが立ち並び、道路が立派になったことに驚きました。一番

驚いたのは、22年前には、空港から至る所が撮影禁止でしたが、今回撮影禁止となっていたのは、北朝鮮軍が掘ったと言われる侵略トンネルのみで、38度線の非武装地帯も全く撮影禁止区域がなかったことでした。ソウル大会の土産話を、この後ワインを飲みながら報告をさせて頂きたいと思っております。

### 出席報告

出席率 100%

### メイクアップ

東山 昶也君・水上 喜芳君・大島 誠君・橋詰 敏一君 (5/29～6/1 2016年国際大会)  
小林 元君 (5/31 直江津 RCにて卓話「発酵食品について」)  
水上 喜芳君・大島 誠君・本山 秀樹君・中田 正君 (6/4 第7分区分会会長幹事会)  
高坂 光一君 (6/4・5 第2560地区 RA 地区協議会)

### 職場訪問 (岩の原葡萄園にて)

職業奉仕委員会 委員長 佐藤 憲二 君

今年度、職業奉仕委員会として職場訪問の事業計画を当初より計画しておりました。訪問先の事情等もあり今年度の最終となってしまいましたが、32名の多くの会員の皆様から参加いただき大変楽しい有意義な例会となりました。

棚橋社長様からワイナリーレストラン「金石の音」の命名のいわれなど卓話をいただき又、レストランのシェフ湯沢様から開業までの苦労話、当日の料理の説明をお聞きいたしました。

ワインは料理に合わせて飲み放題、腹一杯美味しい料理をいただきました。岩の原葡萄園様には心から感謝申し上げます。



# 第45回例会 ■ 6月10日(金)

## 会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さんこんにちは。  
本日と来週の例会は年度末クラブフォーラムとなります。  
まだ、最終例会ではないので少し早いかもしれませんが、1年間無事、何とか皆さんに支えられ会長職を全う出来そうです。大変ありがとうございます。

今日のクラブフォーラムは、その1年の各委員会の活動報告の場であるわけですから、よろしくお願いいたします。

また、先週6月4日(土)直江津のセンチュリーイカヤにて第7分区新田会長・幹事会が開催されました。各クラブより今年度の事業報告と次年度会長からは新年度のクラブ運営方針・目標が発表されました。

その他、小林ガバナー補佐より、4年後のガバナー候補者を当、第7分区より推薦願いたい旨、地区より依頼が来ていることの報告と説明がありました。

現在、新潟万代RCの新保ガバナーノミニーまで決まっていますので、その次の次と言うこととなります。

新保ガバナーノミニーの次は第3分区より選出、その次のガバナー推薦を第7分区からと言うことです。

意見交換と言うことでしたが、持ち帰り検討する前に『我がクラブで推薦は無理』との意見が出され、小林ガバナー補佐より『今日、結論を頂くのではなく一旦クラブに持ち帰り、この第7分区の共通の課題として捉えて頂きたい』旨の話がありました。

またガバナー候補者の推薦は、候補者の人望・器量はもちろんだが、ガバナーを支えるクラブの力が大切だと意見がありました。

その意味では、ガバナー候補者選びは次年度、第7分区の大きな課題となりそうです。

当高田クラブでは来週開催の歴代会長会議に具申したいと考えています。

## 出席報告

出席率 97.96%

## セレモニー

ロータリー財団ボールハルスフェロー表彰 小林 元君  
(欠席の為次週あらためて)

## 委員会報告

親睦委員会——6月の会員お誕生日 各お祝い  
中田次期幹事——委員会事業計画書提出のお願い

## 幹事報告

配布物：週報No.41・ロータリーの友  
回覧物：財団ニュース6月号・上越タイムス講演会上越文化会館コンサート 各パンフ

## クラブフォーラム その1



### SAA 大谷副 SAA

今年度で特筆すべきことは、例会の開始宣言と閉会宣言の役目を仰せつかったことです。高田ロータリークラブでは初めての事でした。次年度はどうするかを話していただきたいと思っております。食事については、ピッチタリが2回、追加が7回と余ってしまう方がまだまだ多いようです。急ぎ欠席の際は、早めの連絡をいただくよう徹底をお願いします。また、早退金については、延べ52名の方よりいただきました。1年間ご協力ありがとうございました。



### 会員増強委員会 齋藤委員長

会員増強委員会は、私齋藤尚明、石倉悟さん、羽深耕時さん、本山秀樹さん、そして水上会長と大島幹事という強力布陣で本年度臨みました。純増5名という目標を立てましたが残念な純増2名という結果でした。引き続き努力は続けるつもりですが、皆様御存知のように近年会員数の減少でこのクラブも苦勞しています。会員の皆様におかれましても会員増強委員になられたつもりで、お仲間をお誘い頂きますようお願い致します。



### 会員選考委員会 橋本委員長

今年度、大島PG、東山PGの3名で取り組んでまいりました。職業分類・ロータリー情報、会員増強、会員選考の委員会三位一体となって連絡を取り合い、迅速な会員選考を心掛け実施してまいりました。また、新会員には職業分類・ロータリー情報委員会より、ロー

タリーについて炉端会合を開いていただき、ロータリーへの理解を深めていただきました。



### クラブ奉仕B 橋詰委員長

運営方針とした、楽しく親しみの持てる例会作りには協力します。としたところですが、私が何もせずとも、各委員長さんは立派に活動されました。出席率も良かったと感じます。

前期と後期に合同委員会を開催し、意見交換を致しました。60周年記念事業では、来賓接待委員会を担当し、成功の一助にされたものと考えます。

長期欠席者へのフォローアップが出来ず、心残りとなりました。



### 出席・ニコニコBOX委員会 高橋委員長

会員相互の親睦を深めるため、翌月の例会出席見込みを会員の方々から提出して頂き、出席率の向上につながりました。

ニコニコBOXにつきましては、SAA その他の委員会との連携を図り、会員の慶事等の情報を取返し、また会員の皆様のご協力のもと、スマイルの機会を増やすことが出来ました。

また、オークションでは、社会奉仕委員会、親睦委員会と協力して、目標額を達成し、楽しいオークション例会を行うことが出来ました。



### プログラム委員会 宮澤委員長 (代読：加藤委員)

例会回数は47回行われました。

プログラム委員会メンバーは、外との広いお付き合いをされている方々であり、外部卓話者のお願いには、さほど困難はさたしませんでした。新規会員の卓話後半にもって来てお話を聞こうとしましたが、回数が足りなく多くの未卓話会員が残ってしまいました。次年度に申し送りをしていきます。

各委員長による強化月間での担当例会は活発に行なっていたが、移動例会、卓話者紹介も多く協力頂きました。各委員会の趣旨もご理解いただけたと思います。

また今年度会長方針でもある、ロータリーを知っていただく為のゲストの招待ですが年間4~5名と思っていたのですが、もっと大勢の方をと言うことで、最後になりましたが8名位お呼びして頂き合計12名となりました。しかし会長方針にいま一歩消化不良だったかと思ひ反省点です。

年間の卓話者、卓話タイトルの一覧は、事務局に原稿を送ってありますので必要な方はいただいでください。ご協力ありがとうございました。



### 社会奉仕委員会 山田委員長

本年度の運営方針として地域社会への奉仕と環境保全の推進を掲げ活動してきました。

- ① 60周年記念事業として新幹線・上越妙高駅前に山桜の植樹を行うこととして昨年10月に上越市に記録を贈呈。
- ② クリーンアップ活動については昨年7月に他団体と一緒に関川クリーンアップ作戦に参加。
- ③ 発達障害を考える会への支援については引き続き側面から協力。
- ④ その他、昨年11月に県立吉川高等特別支援学校の授業内容を視察。



### 広報・会報・雑誌委員会 田中委員長

会長の基本方針、運営方針に基づき、「ロータリーの精神とその活動の理解を深める一助となる広報活動」を基本方針として1、遅滞なく週報を発行する2、週報のデジタル化 3、会員にとって重要なRIや地区ロータリー関連の掲載 4、HPの更新 5、60周年記念誌の発行 以上5点の事業計画に従って事業を進めて参りました。

特に、60周年記念誌発行につきましては、中田、加藤両氏を中心に会員様のご協力で昨年12月に発行させていただく事が出来ました。

今年度の反省から、1、「ロータリーの友」等の雑誌及び地区通信等の刊行物のPR不足、2、週報等のデジタル化の推進この2点を申し送りとさせていただきます。



### ロータリー財団委員会 佐藤委員長

出席者に対しては、告知する事により催促の機会はあるのですが、欠席者におかれましては、お伝えしにくく寄付の意義を感じて頂けていないと思われま

す。次年度は何か進んで寄付の参加を促す方法を工夫して戴ければ会員皆様 眼に見えない不公平感を無くされるのではとも考えられます。毎年の事では有りますがよろしくお願ひ申し上げます。尚、今年度の寄付金額は目標額20,000円/人に対し18,000円(155ドル)/人でした。皆様ご協力いただきありがとうございました。